

2/17 一般質問をしました

こどもの権利条約の周知啓発

算議成において各局区と連携し、積極的に情報収集を進めている。2026年度に向けては、新たな国の地域未来交付金を積極的に活用することとしていると答えた。各種DX等ツールでの業務効率化の検証について聞き、導入したツールの利用状況や効果の検証をしておられ、例えば、プログラミングなしにアプリを作成できるkintone（キントーン）は、全庁で年間9,000時間を超える業務量削減につながっているとの答弁でした。

カスターママーハラスメント対策

本市職員アンケートでは28%がカスターママーハラスメントを受けたと回答しているが、対策と基本方針に関して聞き、不当な言動に対しては、本市が毅然と対応することを明らかにし、職員の安全と円滑な業務遂行が確保できるような基本方針を策定し、現場の職員の意見も参考としながら啓発ポスターを作成した。今年度中に、カスターママーハラスメントを盛り込んだマナーマニュアルを策定し、新年度には通話録音などの環境整備、職員研修も予定していることと答えた。

小学校給食費無償化の反応、食育推進

小学校給食の完全無償化導入に向けての市民の反響は、方針を表明した後、歓迎の声を教育委員会に寄せられるなど、評価をいただいているものと認識していることと答えた。食育推進について話し、栄養教諭等は、学校等に就いて食に関する指導を行う中心的な役割のほか、食物アレルギーや健康課題を有する児童生徒の個別相談にも対応している。給食日よりやホームベージュ等を通じて周知しており、紹介動画の作成公開など、引き継ぎ、様々な工夫を凝らしながら、栄養教諭等が担う職務の情報発信に努めたいと答えた。さらに中学校および保育所、認定こども園の給食費無償化も求めた。

(仮称)ケアラア支援条例はすべての年代を対象に

ヤングケアラア支援とケアラア支援条例について話し、ケアラアを社会全体で支えていくためには、支援を必要とする方がいかに、より広い視野で捉えて、見守ることが必要である、という基本的な考えのもと、すべての年代を対象として、ケアラア支援条例の検討を進めていくことの答弁でした。

未来世代に責任ある財政運営

長期にわたる安定した財政は必須であり、施設整備等のランニングコストを削減しての見直しについて聞き、予

あったかトーク

2026年 第56号 春号

ひぐちのりこ市議会ニュースレター



立憲民主党仙台市 幹事長
●健康福祉委員会委員
●防災対策委員会委員
●仙台市国民健康推進協議会委員

過去最大の予算規模 第1回定例会

2026年第1回定例会は2月6日開会、3月12日閉会の日程で開かれ、一般会計・企業会計の2026年度の予算案など計76件の議案審査を行いました。開会日の冒頭、市市長は「人が集い、となつて世界から選ばれるまちの魅力を描き、こども・若者を育む世界に誇れるまちを創る」「共生のまちを築く」を3つの柱に、重点的な予算配分をしたと説明しました。2026年度の一般会計は、対前年度比549億円増の7,306億円で、最大の予算規模となりました。

令和8年度当初予算のポイントおよび予算規模

ひぐちのりこ市市長は、まちづくりの目標を「ひととまちなか」という関係性の構築にあり、こども・若者を育むまちを創る、共生のまちを築く、を3つの柱に、重点的な予算配分をしたと説明しました。

	令和8年度	令和7年度	増減額	前年度比
一般会計	7,306億円	6,757億円	+549億円	108.1%
特別会計	3,379億円	3,309億円	+70億円	102.1%
企業会計	2,720億円	2,657億円	+63億円	106.0%
合計	13,805億円	12,723億円	+1,082億円	108.1%

小学校給食費 第2子以降の保育料無償化

主な予算編成では、小学校給食費の無償化、所得に関わらず第2子以降の保育料の無償化、こども医療費の18歳までの助成拡大、西公園への屋内遊び場整備、児童クラブ待機児童ゼロ、国際的企業への誘致、救急医療救護体制強化（青葉区小松島）、難聴高齢者補聴器購入補助、敬老乗車証制度における回数券方

式の導入（菓子、タケヤ交通）、マンホールトイレ整備、クマ対策パッケージ推進などが盛り込まれました。

その他、(仮称)ケアラア支援条例の制定、小中学校の水泳授業の民間移行、観光促進事業、外国人住民実態調査、バスポート関連事務を担う拠点「(仮称)仙台シティフロントセンター」整備なども提案されました。



市バス運賃改定は10月から

条例改正案では、新築建物への太陽光発電設置促進制度の導入、資源循環都市づくりなどを盛り込んだ仙台市環境基本条例(社の都環境プラン)および地球温暖化対策の推進に関する条例改正などが上程されました。また、職員を207人増員(福祉事務所、消防、教職員等)する定数条例、(こども園でも通園制度)の本格実施に伴う条例改正、市バス運賃改正に伴う運賃条例改正案なども提案されました。例改正案などにも提案されました。工期請負契約に関する件では、市役所本庁舎給排水設備工事費の追加補正

音楽ホール等 複合施設整備で議論

青葉山公園に音楽ホールと中心部モリアル施設整備が本格化に向けて走り出しました。2023年に文化芸術と災害文化の融合した施設「基本構想」が策定された後、昨年11月に基本設計(中間案)が示されました。その際の整備費は548億円でしたが、今年2月に示された事業計画案では、2,000人規模の大ホールを高さ制限に配慮して地下に整備することや地下鉄青森線西線の騒音・振動対策、各種施設整備等を加えると646億円となることと報告されました。市議会では、このかさばる整備費等や市民理解の不足などに對して議論が集中し、市民団体からも、仙台市と議会あてに複合施設計画に関する要望書も提出されました。議案では青葉山複合施設に関する経費関係の一般会計予算に對して財源の適切な確保、事業費の縮減、市民への十分な説明などについて期待の声を示し、整備をすすめていくこととしています。

TEL 022-398-8171
FAX 022-398-8172
nhi@city.higashi-ku.ac.jp
〒980-0011
仙台市青葉区上杉3丁目9-31
プリマウェーブ社101

お問い合わせはこちら

くわしくは公式HPへ

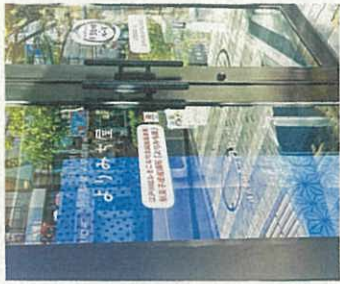
東奔西走！皆さんの声を聴いて、市政へ！

1/14 「江戸川区駄菓子屋 居場所よりみち屋」視察

ひさごもり状態の方が安心して過ごすことのできる居場所として江戸川区が設置した「江戸川区駄菓子屋居場所」よりみち屋の視察をしました。平日開店が福祉や医療などの資格を持ったスタッフが在籍しています。

居場所では、ソファでくつろいだり、テレビを見たり、併設することのできる駄菓子屋で駄菓子を食べることができ、また、駄菓子屋では就労体験を行うことができ、仕事を通じて社会へのつながりなどを図っています。

江戸川区では2023年「ひさごもりの



東京都江戸川区海江駅近くにある「江戸川区駄菓子居場所よりみち屋」

1/15～16 防災環境都市調査特別委員会視察

15日は石川県で、被災者への福祉的支援の在り方について聞き取りました。能登半島地震ではDWWAT（災害派遣福祉チーム）が組織され、全国から研修を受け、専門職の方による被災者へのサポートが行われ、具体的な活動内容や課題についても質疑応答を行いました。

続いて生活再建にお困りの被災者の皆様に対し併走し、いしかわ被災者支援センターでシヨリ引用



いしかわ被災者支援センター

1/20 富谷市のユニセフ日本型子どもにやさしいまちづくり事業視察

宮城県富谷市は2023年日本初のユニセフ日本型子どもにやさしいまちづくり事業実践自治体として承認を受けています。富谷市の最上位計画に「子どもにやさしいまちづくり推進」が盛り込まれ、子どもに直接関わるセクションだけでなく、全庁横断的な取り組みが行われています。視察事例が生徒



1/21、2/14 健康福祉常任委員会で質問

1月14日は、仙台市の保育所、認定こども園における4、5歳児の保育士配置基準が、子ども25人に対し保育士1名（現行は30対1）という新基準の開始時期が2027年となったことについて質問しました。施設側において新基準を満たした職員採用計画等の見直しや、職員の採用活動に一定の期間がかかることから、新基準の運用が円滑に行えるよう、準備期間を設ける形での設定としたと答えます。

また、昨年から今年初めの初期救急医療体制について質問し、急救センターでは受付会計事務および医療スタッフの増強や待ち人数表示・呼び出しシステムの設置、インターネットによる待ち人数の表示などを行い一定の効果があった。また仙台オープン病院をはじめ医療関係の協力についても聞き、一定の



急救センターに設置された自動除震器

2/27、3/2 「市が発注する業務委託契約に対し賃金スライド制導入へ」予算等審査特別委員会で質問

2月27日は、物価上昇等によって、複数年にわたって契約している景況で、プラスマイナスの差が生じている状況について、賃金スライド制の導入について質問しました。

3月2日は、文化観光施設について、12月1日に岐阜・仙台・山の3市が「日本三大山城遊覧」を立ち上げた経緯について質問しました。

定津寺通りにおける現代アートや障がい児アートを活用した取り組みに関し、広い空間を多様な人たちが出会う場としての活用を追求すること。展示だけでなく、一緒にアートを作ったりすることで、豊かな時間を共有すること。行政として、アートの持つ力をバックアップし、市民が主役の持続的な交流の場を進めることについて質問し、様々な主体が交流し作り上げていき、仙台ならではの視点を持った新たな観光コンテンツを進めていくと答えました。



賃金スライド制の導入について、物価変動による賃金調整の仕組み

主な活動日誌

3月1日	東日本大震災からの復興に「文化」は何をもたらせたのか？トーク
3月7日	仙台市立第一中学校卒業式
3月11日	東日本大震災 仙台市追悼式
3月14日	仙台防災フォーラム
これらの主な予定	
3月18日	仙台市立国見小学校卒業式
3月26日	防災環境都市調査特別委員会 会派視察
4月8日	仙台市立国見小学校入学式
4月9日	仙台市立第一中学校入学式
4月21日	健康福祉常任委員会
2月22日	ひと☆まち児童館フォーラムin仙台
1月11日	2026年はたちのつどい
1月13日	全国フェミニスト議員連盟女性議員パワーアップ集中講座
1月15日～16日	防災環境都市調査特別委員会視察
1月21日	健康福祉常任委員会
1月28日	仙台市国民健康保険協議会
2月6日～3月12日	仙台市議会第1回定例会
2月20日	自治体のヤングケアラー問題対策を知る講座
	音楽ホール・メモリアル拠点を考える市民会議

お問い合わせ 「市議会」に送付している方につきましては、発行前の情報不足から、すでに送付済みであるか、ご返信をおかけすることになります。その際には情報をお寄せくださいますようお願いいたします。なお、お名前や住所などの誤字や訂正などがありましたらお知らせ頂きますよう、お願い申し上げます。